



琴清苑だより

発行：社会福祉法人 双葉会
 介護老人福祉施設 琴清苑
 編集：広報委員会

〒198-0212 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1139
 TEL 0428-83-3932 FAX 0428-83-3706
 URL <https://www.futabakai.or.jp/>
 e-mail kinseien@futabakai.or.jp



琴清苑
 移転
 新築
 特別号

理事長挨拶

社会福祉法人 双葉会理事長 小峰 望明



本日ここに社会福祉法人双葉会 特別養護老人ホーム 琴清苑 新築披露の式典を挙げるに当たり、新型コロナウイルス対策のため規模を縮小しての開催となりました。ご来賓の皆様方にはご臨席を賜り、錦上花を添えて戴き心より厚く御礼申し上げます。

此度の琴清苑新築に当たりましては、厚生労働省、東京都、奥多摩町、奥多摩町議会並びに独立行政法人福祉医療機構及び東京都福祉保健財団をはじめ、関係官庁の方々には適切なるご指導を賜り、お陰様をもちまして初期の目的を遺憾なく達成することができ誠に有難く心より感謝申し上げます。

又、昨年一月に工事着手し、施行中は大型車の往来や騒音等に地元の皆様方には大変ご迷惑をおかけ致しました。ご理解ありご協力を賜り誠に有難うございました。

この事業推進の中枢を成す用地確保につきましては、土地所有者皆様方には古くから守り伝えられてきた先祖伝来の貴重な土地を、社会福祉事業を認識せられ、建設用地として快く奥多摩町へ提供いただき又、計画地周辺の土地所有の住民の皆様のご同意も賜りました行為に対しまして深甚なる敬意を表す次第でございます。

(次ページに続く)

また、奥多摩町からその建設用地である町有地を奥多摩町議会へ「普通財産無償貸付について」の議案を提出いただき、町議会議員全員のご理解のもとに原案のとおり可決、ご承認を賜り、奥多摩町から無償でお借りして使用できますことを心より感謝を申し上げます。また、奥多摩町から整備費の補助金につきましても重ねて御礼申し上げます。

さて、この設計監理に於きましては、社会福祉施設の設計監理が豊富で、介護福祉事業の現状を把握している「株式会社 高水一臣建築事務所」が受注されました。震災による復興や開催決定した東京オリンピック・パラリンピック等の影響により資機材等の高騰により度重なる設計変更をいただきましたが、地域及び環境との調和に配意し、ご覧の通り立派にその威容振りが伺えます。

建築工事に於きましては、都内で多くの特別養護老人ホーム新築工事実績があり、又、平成十九年三月に移転した氷川保育園新築工事も担当され、運営、技術、堅実性、共に多摩随一を誇る「扶桑建設株式会社」が受注されました。令和元年十月、中国武漢に端を発した新型コロナウイルスは、年明けから瞬く間に全世界を席卷し、我が国においても緊急事態宣言が発出されるなど人の移動や経済活動の制限などの自粛行動が行なわれました。関連事業所の献身的御努力もあり予定を着実に遂行され、工期通り一月末日を以って滞りなく完成し無事に竣工の運びとなりました。そのご苦勞に対しまして心より感謝申し上げます。

省みますと当法人双葉会の創設者である「故 佐藤黙童 大和尚」に於きまして、昭和五十二年七月、この常盤地域に特別養護老人ホーム「琴清苑」を開設し、当法人の基本理念である「心の福祉」を実践し、ご利用者皆様や地域福祉の向上をめざしてまいりましたが、建物等の老朽化が著しく、施設入所者等の利用に支障を来し始めましたので、「佐藤泰信 常務理事」を中心に改築計画を推進してまいりましたところ、平成二十九年十一月一日、持病が突然悪化し、遂に帰らぬ人となりました。

故 佐藤泰信 常務理事の遺志を継ぎ役職員が一丸となり計画を推進し無事本日を迎えることができました。ここに、ご臨席賜りました各位に対しましてあらためて御礼を申し上げます。

改築した施設内容は、既存の施設を踏襲した「特別養護老人ホーム」とし、鉄筋コンクリート造りの地下一階、地上三階建て、十名増床した九十六名の定員とし、全室個室の従来型としました。また、奥多摩町と平成二十七年一月八日に締結した「災害時における福祉避難所(二次避難所)の開設等に関する協定書」に基づき、この施設内に「防災拠点型地域交流スペース」を整備しました。

このスペースは、今後、災害時における避難所はもとより、開放することにより、地域住民の憩いの場などに活用していただければと考えております。

結びにあたり、改築事業にご寄付を賜りました皆様に感謝を申し上げ、今後も法人役職員が地域社会と連携していくと共に、健全なる法人事業を継続し、また、「心の福祉」を継承し、より良い老人処遇を目指し、尚一層努力を傾注する所存でございますので、何卒ご臨席いただきました皆様方には今後とも絶大なご指導とご後援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

甚だ簡単ではございますが、社会福祉法人 双葉会 理事長としてのご挨拶と致します。

誠に有難うございました。

(令和3年3月16日 琴清苑落成式典 理事長 挨拶より)

【工事概要】

施 主： 社会福祉法人 双葉会 理事長 小峰 望明
設 計 者： 株式会社 高水一臣建築事務所
工事施行者： 扶桑建設株式会社
施行場所： 東京都西多摩郡奥多摩町氷川1153-1 他
主要用途： 特別養護老人ホーム（従来型個室）
建物構造： 鉄筋コンクリート造
階 数： 地下1階地上3階
建物高さ： 10.09m
敷地面積： 3,920.20㎡ (1,188.88坪)
建築面積： 1,839.13㎡ (556.33坪)
延床面積： 5,129.50㎡ (1,551.67坪)
工 期： 令和2年1月～令和3年1月
総 工 費： 1,429,813,000円

感謝

特別養護老人ホーム 琴清苑 施設長 大野 尚

特別養護老人ホーム琴清苑移転新築落成にあたりご挨拶を申し上げます。

このたび、社会福祉法人双葉会が、永年にわたり検討、協議を重ね、改築計画を進めてまいりました琴清苑新築施設が無事完成しました。この新築にあたり、建物の設計、監理を担当してくださいました高水一臣建築事務所様や直接工事を担当してくださいました扶桑建設株式会社様並びに設備備品等の納入関係者をはじめ、多くの皆様方に心より感謝申し上げます。

おかげさまで工事期間中事故等も無く、予定していた工期内に工事が完了し本日の落成式を迎えることができました。これもひとえに東京都知事並びに奥多摩町長、本日ご列席の皆様のご指導やご支援ご協力の賜物と存じます。重ねて御礼申し上げます。また、地元の住民皆様には工事期間中は何かとご迷惑をお掛けしましたが、ご協力を賜り心より感謝申し上げます。

また、建設用地並びに周辺土地地権者の皆様には、琴清苑新築に際しましてご理解、ご協力をいただき誠にありがとうございました。

さて、既存の琴清苑は、昭和52年7月に定員86床の従来型多床室としてご利用をいただいておりますが、建物等の経年劣化が著しいことから改築に向けて、法人役職員で検討・協議を行い、その後、整備計画概要を基に奥多摩町長にもご出席いただき町職員と検討・協議を重ねてまいりました。

東京都の施設整備基本指針では、既存施設の増築及び改築は、ユニット型で整備することを原則としています。ただし、地域における特別な事情等の理由がある場合には町長の意見書に基づいて、知事が特に認める場合に限り、これによらないことができますとしています。このことから、双葉会では、既存の施設利用者の状況や奥多摩町の地域性を勘案した場合、ユニット型で整備すると施設利用料負担が高くなり、生活保護受給者や国民年金受給者が利用できなくなると見込まれることから、総合的に判断し、ユニット型ではなく従来型個室とし、計画地の土地形状を活用した地下1階、地上3階建、鉄筋コンクリート造りの96名定員で整備することとしました。また、平成27年1月に奥多摩町と双葉会で「災害における福祉避難所(二次避難所)の開設等に関する協定書」の締結に基づき、1階に防災拠点型地域交流スペース(福祉避難所)と監理部門を設置しました。

地域交流スペースには190㎡以上の面積が必要なため、利用者の居住部分を2階、3階に設置しました。

これらの対応や変更に伴い、国都の施設整備費補助金等の額が大きく減額となり双葉会の事業費も増大し自己負担額も大きいものとなりましたが、町、ご当局のご理解を賜り整備事業補助金等のご支援をいただき整備費に充てることができましたことを、心から感謝を申し上げるところでございます。

昭和24年、佐藤黙童大和尚が氷川保育園を創設、その後、昭和38年に社会福祉法人双葉会創設以来、法人の理念である「心の福祉」を継承し、多くの皆様に温かいご指導ご支援を頂戴しながら、役職員が一丸となってこの社会福祉施設である特別養護老人ホームを運営並び経営を行ってまいりました。

都内で同時期に他法人の多くがユニット型で創設・増改築整備する中、移転新築した琴清苑は、従来型個室として整備を実施しました。このことから、ご家族皆様などの利用料のご負担にも配慮した施設として、今後も町内はもとより、区市町村の都民や近県の皆様にご利用していただけるものと存じます。

この琴清苑落成に至るまで、多くの関係機関を初め、設計監理並びに工事関係者及び常磐自治会の住民みなさまに改めて御礼と心からの感謝を申し上げます。

既存の琴清苑は、この7月に築44年を迎え、同月までに解体され跡地は奥多摩町へ寄附となります。

この4月から立派に建替えられた新施設が稼働しますが、法人役職員が従来にまして研鑽を重ね、ご利用者の処遇の向上及び地域社会貢献に努めてまいりますので、これからは皆様方には何かとお世話になるうかと思いますが、変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

(琴清苑移転新築記念誌 および 琴清苑落成式典 挨拶より)

御礼

双葉会業務執行理事・寿楽荘施設長 奥平 周二

本日は多数の皆様方のご臨席を賜り、琴清苑落成ができましたことを心より感謝申し上げます。昨年よりの新型コロナウイルス感染症の拡大により、感染拡大防止対策を徹底し規模を縮小し開催をさせていただきました。またより多くの地域住民・関係者の皆様方には内覧会の形をもって完成施設をご見学いただく予定となっています。

ご覧いただきましたように、国・東京都・奥多摩町をはじめとする経済的援助と高水一臣建築事務所並びに扶桑建設、関係業者の皆様のご優れた施工技術により見事に完成いたしました。特徴としては、より多くの所得者層の皆様方がご利用できるよう96名定員「従来型全個室」とし、「防災拠点型地域交流スペース」を備えているところです。災害時には福祉避難所として、また地域に開放することにより、より地域に根差した施設の運営を推進していきたいと考えています。

琴清苑の建替えについては、平成20年3月に法人の中・長期計画の中において、平成30年を目途に定員100～120名規模に増床し全面改築を行う計画を、自己資金財源の改築積立金についても事業所別に目標額5億円の積立計画を策定いたしました。この間、国の補助率の低下、介護報酬の改定毎に行われる減額、重ねて東日本大震災、東京オリンピック決定の影響からの建築資材の高騰等により、東京都内における老人福祉施設の新築、増改築は非常に難しい状況におかれ、当法人の積立計画も当初の計画どおりには進まない中、東京都・奥多摩町とも協議を重ね、国が進める全面ユニット型ではなく、町よりの意見書をいただき従来の低所得者層が利用できる従来型施設で、町有地を利用させていただく形での移転新築を中心に計画を進めてまいりました。（この理由については、双葉会では創設時より奥多摩町民の皆さんは勿論のこと、低所得者が中心の社会的弱者（生活保護受給者、身寄りのない方、病院退院後の帰来先がない単身者の方等々）の皆さんに優先して利用していただくという考えに基づいたものです。）

この常磐地域に開設して以来44年を経過しましたが、この間ご指導ご支援を賜りました地域住民の皆様並びに関係者の皆様と共にこの慶びを分かち合い、今後またゆまぬ努力を重ねて多くの高齢者の皆様方へのより良いサービスの提供を継承してまいりたいと誓っております。

本日は誠にありがとうございました。この誌を借りて御礼に替えさせていただきます。

（琴清苑移転新築記念誌 および 琴清苑落成式典 挨拶より）

【ご報告】

令和3年3月16日に開催した落成式典には、57名のご来賓にご出席いただきました。また、18日から20日開催した内覧会には、256名の方に、施設見学をいただきました。多くの方に出席・見学を賜りありがとうございました。重ねて御礼申し上げます。

◆編集後記◆
旧琴清苑 四十四年間お疲れ
さまでした。ありがとうございました。
吉井

《ボランティア状況》
令和3年1月～3月
コロナウイルス感染拡大の防止の観点から、ボランティアの中止とさせていただきます。ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

| 3月 | 2月 | 1月 |
|---------------------------|-------------|-------------|
| 世田谷区 練馬区 練馬区 杉並区 | 世田谷区 足立区 | 世田谷区 練馬区 |
| 1名 | 1名 | 1名 |

《入苑された利用者》
令和3年1月～3月

| 6月 | 5月 | 4月 |
|-----------|------------------------------|------------------------|
| 4日 誕生会 | 4日 5日 6日 菖蒲湯 誕生会 | 9日 8日 誕生会 涅槃会 |

行事予定